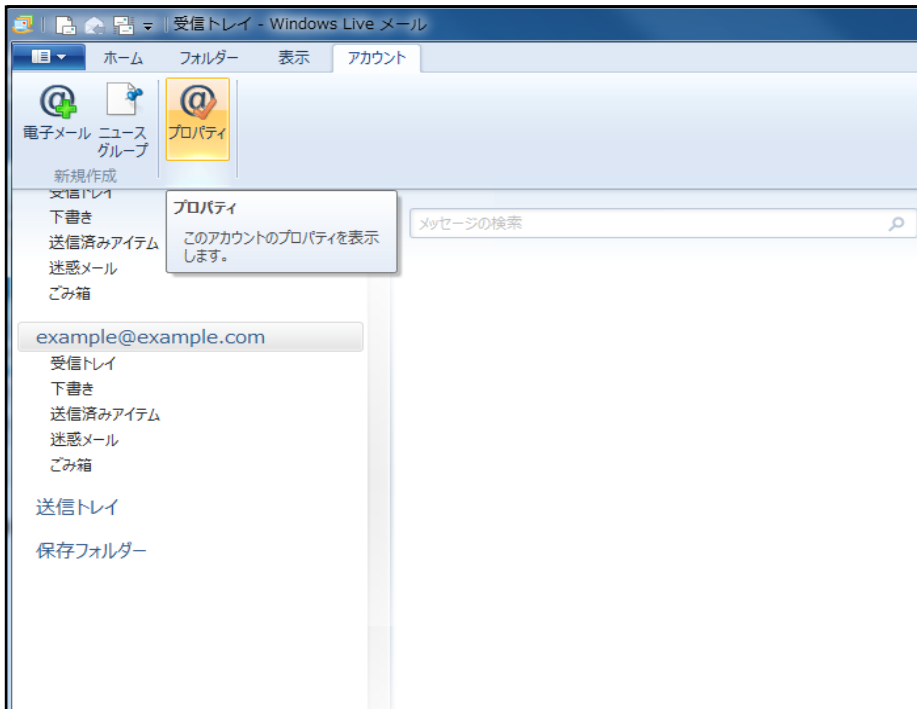
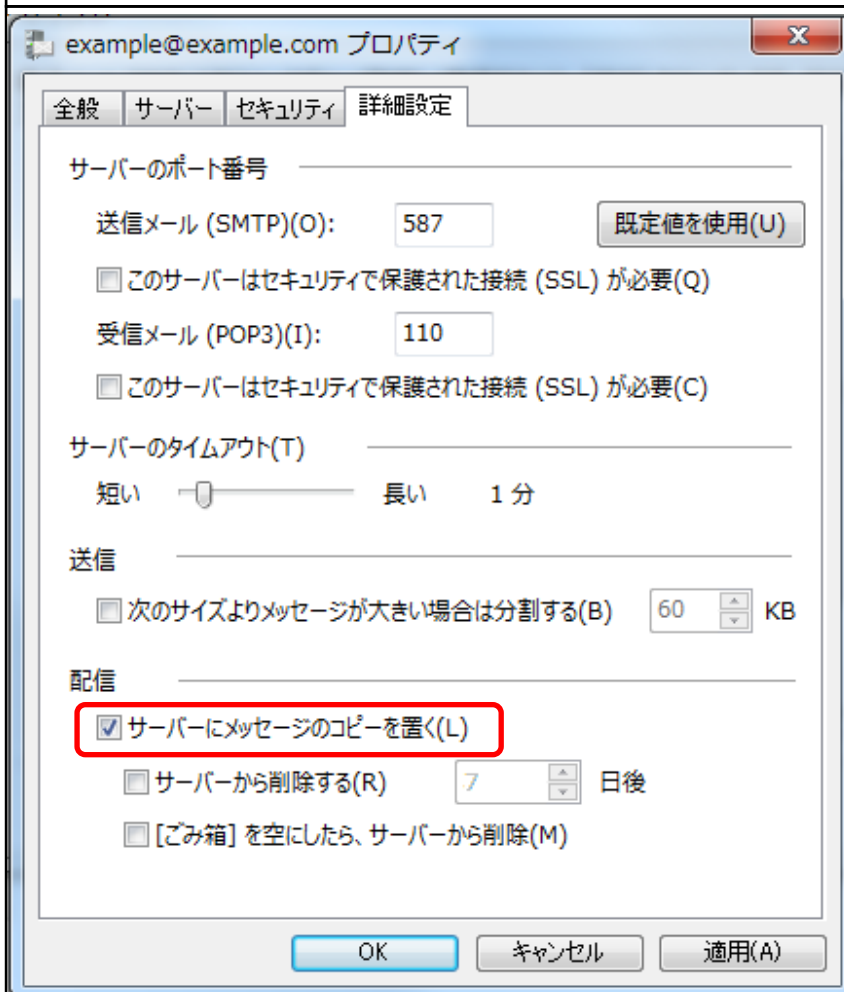


< WindowsLive メール 2012 の場合 >



①
WindowsLive メールを起動します。
左欄から該当するアカウント名をクリックし、上欄「アカウント」をクリックします。
「プロパティ」のボタンを押します。



②
「プロパティ」の画面が表示されます。
「詳細設定」タブをクリックし、画面下部の配信項目を確認します。

「サーバーにメッセージのコピーを置く」にチェックが入っていて、
 「サーバーから削除する」にチェックが入っていない場合、メールソフトで受信したメールであってもサーバーには蓄積され続けて容量オーバーの原因になります。

< 複数の端末で同じメールを受信している場合 >

→ ③ - 1

< 1つ端末で受信している場合 >

→ ③ - 2

example@example.com プロパティ

全般 サーバー セキュリティ **詳細設定**

サーバーのポート番号

送信メール (SMTP)(O): 587 既定値を使用(U)

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(Q)

受信メール (POP3)(I): 110

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(C)

サーバーのタイムアウト(T)

短い 1分 長い

送信

次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する(B) 60 KB

配信

サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

サーバーから削除する(R) 7 日後

[ごみ箱] を空にしたら、サーバーから削除(M)

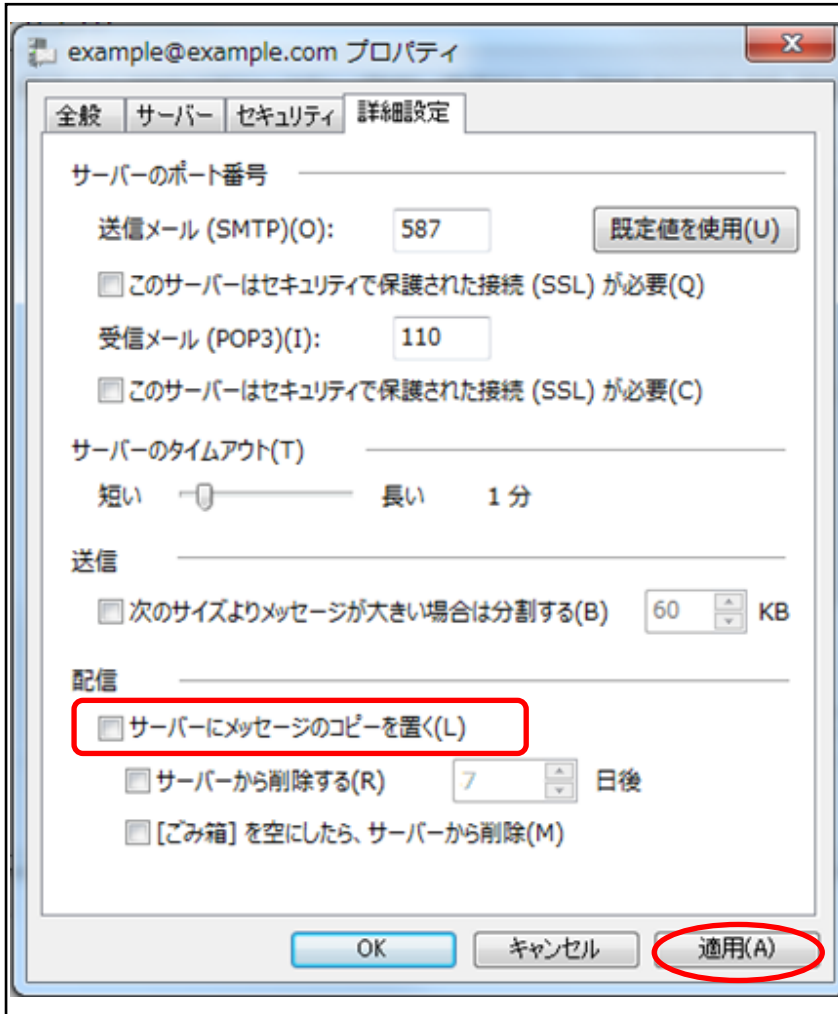
OK キャンセル **適用(A)**

③ - 1

<一定期間後コピーを削除する>

「サーバーから削除する」にチェックを入れ、

「*日後」に制御するように設定し、「適用」ボタンをクリックします。



③ - 2

<サーバーにコピーを置かない>

「サーバーから削除する」からチェックを外し、「適用」ボタンをクリックします。

< 項目の意味 >

• **サーバーにメッセージのコピーを置く**

チェックするとメールの受信後もサーバーにメールを残します。
チェックを外すと受信したメールは直ちにサーバーから削除されます。

• **サーバーから削除する ○日後**

チェックするとメール受信後、指定の日数が過ぎたメールはサーバーから削除されます。
チェックを外すとサーバーに残されたメールは削除されず残り続けます。

• **[ごみ箱]を空にしたら、サーバーから削除**

チェックするとごみ箱フォルダから削除されたメールはサーバからも削除されます。
ごみ箱フォルダを経由せずに削除したメールはサーバに残ってしまいます。